

編集後記

最近の外国雑誌に日本で発行される和文学術雑誌の外国における評価に関する論評が載っていた。それによると外国人も我々と同様に不得意な言語で書かれた雑誌でも、興味ある論文が載るとそれなりに努力して写真などからその論文の主旨を理解しようとしているようである。そのような不得意とする言語で書かれた論文の場合でも、抄録などが英文で書かれていると、さらに理解が増すと書かれている。そのような意味でも和文雑誌の英文抄録はつけたりのように書かれることが多いが、決められた語数の中で、簡潔に方法と要旨を記載することが重要になってくる。さらに、図とか表にも英文の簡単な説明が付記されると日本語の論文も一段と理解されるであろうと論評されていた。

(名和橙黄雄)

暑中お見舞い申し上げます。

本号が会員の先生方のお手許にとどく頃は猛暑の最中と存じます。御自愛下さい。

最近の読書の中で、日本の中の異文化として「みちのく」を上げているのが目に止りました。何千年もの昔から、どうもこの「みちのく」は全く異った文化をもっていたようだ。弥生文化は西日本、縄文文化は東日本と分けられるように、そこに住んでいる人々の姿、形、表現、考え方など全く異っている。全ての行いが「牛歩の如く」とあるように、この「みちのく」はゆったりとしていて、本来の日本の姿を見る思いです。しかし、ここに住んだ人々には、この「みちのく」にのみ出土する火焰土器にみられる太陽神（西アジアに発生）を奉じていたので燃えるような情熱を内に秘めているのです。

本号には日常歯科診療において、時々問題になる高血圧症について、高科教授（歯学部内科学）に解説していただきました。日常診療に役立てていただければ幸いです。

(伊藤忠信)

岩手医科大学歯学雑誌
第10巻 第2号

昭和60年7月10日印刷

昭和60年7月15日発行

発行人 鈴木 隆

発行所 岩手医科大学歯学会

盛岡市中央通1-3-27

岩手医科大学歯学部内

振替口座 盛岡 1358

電話 0196-51-5111

印刷所 川口印刷工業株式会社

盛岡市本町通2-13-8